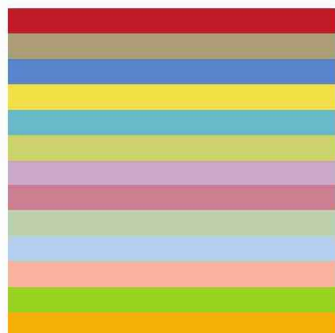
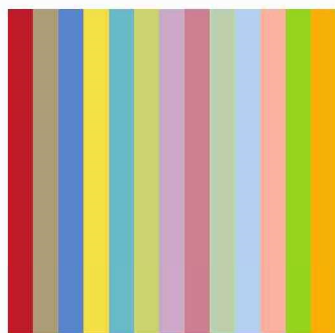
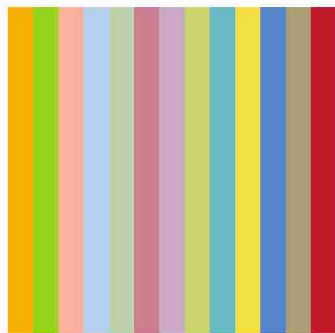
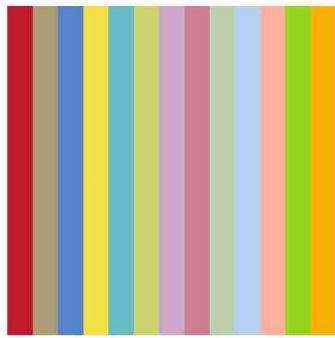




美ら島の未来を拓く
内閣府 沖縄総合事務局

一般職採用案内

TO YOU WHO CARRIES THE FUTURE OF OKINAWA

市場経済が需要と供給のバランスで成立しているように、行政機関も需要と供給を意識して活動している。

平成の初めの頃まで、少雨の年には給水が制限されることがあり、沖縄県民の日常生活に支障を来していた。それを解決してほしいという県民の需要に応えるため、沖縄総合事務局は「ダム」という大きな水壩を造った。これにより給水制限は過去のものとなった。

沖縄総合事務局は、ダム、空港、道路などのインフラ整備のほか、金融、産業振興、農林水産業、運輸など様々な分野において、国の総合出先機関という強みを活かし、その総合力を発揮することで、県民の需要に応えてきた。

しかしながら、沖縄にはまだ多くの課題が山積している。慢性的な交通渋滞解消のため、道路整備や公共交通機関の更なる活用に加え、IoT、AIなどテクノロジーにより最適解を導く努力も必要である。リーディング産業へと成長した観光は、インバウンドを受け入れる国際観光地としてハード・ソフトともにさらに高度化していく必要がある。また、沖縄の強みである「地の利」、「知の基盤」、「地域資源」を最大限に活かして新たな産業を創出し、沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の交易・交流拠点、いわゆる「アジアゲートウェイ」を目指し、国際物流産業を始めとする次世代の成長産業戦略を実行していくことも重要である。

顕在化している需要に加え、新たな市場の創造など、潜在的な需要に対しても県民と真摯に向き合い、国の視点から必要な行政資源を供給することにより沖縄振興に寄与する。そこに沖縄総合事務局の持つ総合力が発揮される。

その一員として沖縄振興の最前線で働くことは、貴方にとって、やりがいのあるかけがえのないものとなるはずである。

目 次

沖縄総合事務局の概要 ―→ 02

沖縄総合事務局各部紹介 ―→ 03

先輩職員からのメッセージ―06

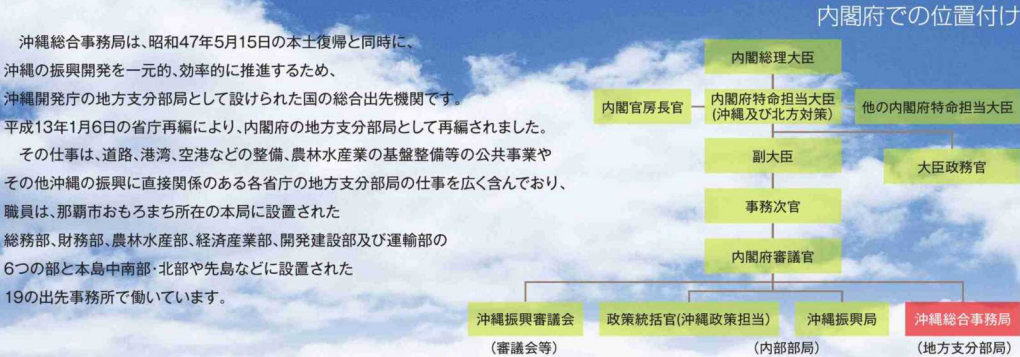
出向職員からのメッセージ―19

ワーキングスケジュール ―→ 24

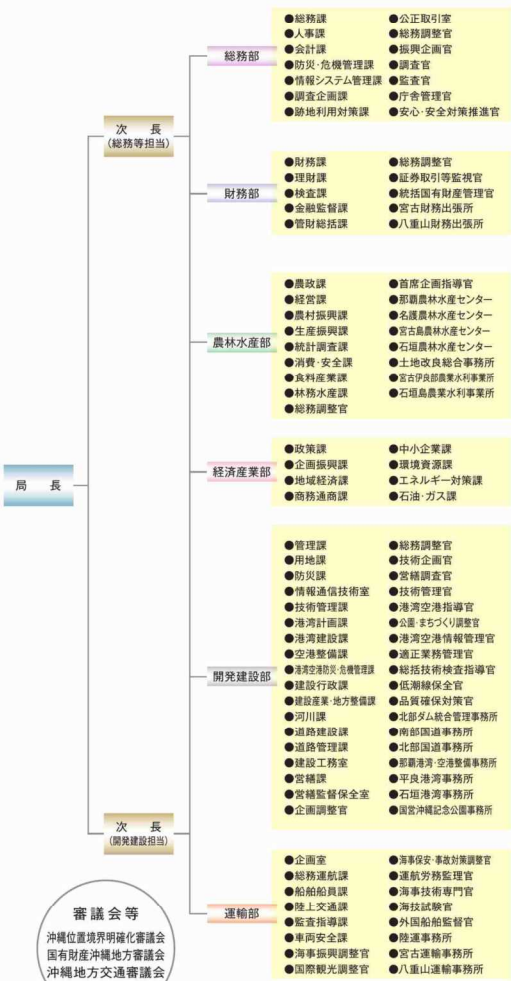
ワークライフバランス ―→ 26
～育児休業を取得して思うこと～

私の履歴書 ―→ 28

採用に関する Q&A ―→ 29



沖縄総合事務局機構図



沖縄総合事務局本局等の所在地

【北部圏・中南部圏】

- 名護市
- ・名護農林水産センター
- ・北部ダム統合管理事務所
- ・北部国道事務所

●本部町

- ・国営沖縄記念公園事務所

●浦添市

- ・陸運事務所

●那覇市

- ・沖縄総合事務局(本局)
- ・那覇農林水産センター
- ・南部国道事務所
- ・那覇港湾・空港整備事務所

●豊見城市

- ・土地改良総合事務所

【宮古圏】

●宮古島市

- ・宮古財務出張所
- ・宮古島農林水産センター
- ・宮古伊良部農業水利事業所
- ・平良港湾事務所
- ・宮古運輸事務所

【八重山圏】

●石垣市

- ・八重山財務出張所
- ・石垣農林水産センター
- ・石垣島農業水利事業所
- ・石垣港湾事務所
- ・八重山運輸事務所

総務部

- 総務課
- 人事課
- 会計課
- 防災・危機管理課
- 情報システム管理課
- 調査企画課
- 跡地利用対策課
- 公正取引室
- 総務調整官
- 振興企画官
- 調査官
- 監査官
- 庁舎管理官
- 安心・安全対策推進官

各部の業務を支え、 沖縄総合事務局全体を統括する

行政機関が施策を実施するためには、その業務を下支える総務・人事・会計など官房部門が必要となります。沖縄総合事務局では、これら官房部門の業務を総務部に集約し、効率化を図っています。

総務部では、総務、広報、防災、情報公開、人事、給与、研修、予算、決算、調達、監査、情報ネットワーク及び庁舎管理など幅広い業務を通して、総合調整機能を発揮し、局全体を統括しています。

沖縄振興のための調査、 跡地利用の推進を通し沖縄に寄与する

総務部には、官房部門のほか、沖縄振興を推進するための各種調査を実施する調査企画課が設置されています。調査企画課では、経済動向、産業振興、離島振興、雇用労働情勢など沖縄振興計画に関する重要な事項について調査を行っています。

また、駐留軍用地返還に係る跡地利用に関する業務を行うため、跡地利用対策課が設置されています。跡地利用対策課では、跡地利用の実現に向け主体的な取組を行っている市町村に対し、跡地利用に関する専門家の派遣、県外のまちづくりの取組事例を現地で学ぶ先進地事例研修の実施、跡地利用支援システムの運用等により、市町村を支援しています。

自由経済社会における、公正で自由な競争を守ります

公正取引室は、公正取引委員会の出先機関として、沖縄地域の経済活動における公正かつ自由な競争を守るため、独占禁止法とその補完法である下請代金支払遅延等防止法(下請法)等を執行しています。もし、違反行為があった場合には、厳しく取り締まり、競争秩序をいち早く回復できるよう務めています。

そのほか、中学校、高校、大学で独占禁止法教室(出前授業)を開催したり、沖縄地域の競争政策に関する意見を聴取る有識者との懇談会や消費者が良質・廉価で多様な商品・サービスを選択できるよう暮らしの中の独占禁止法の関わりについて説明する消費者セミナーを開催するなど、独占禁止法・競争政策の普及・啓発に取り組んでいます。

財務部

- 財務課
- 理財課
- 検査課
- 金融監督課
- 管財総括課
- 総務調整官
- 証券取引等監視官
- 統括国有財産管理官
- 宮古財務出張所
- 八重山財務出張所

財政・金融のプロフェッショナルとして

財務部は、財務省の総合出先機関である各地域の財務局と同様に、国有財産の有効活用や予算執行調査などの財政に関わる業務、また、金融庁からの委任を受け、地域金融機関の検査・監督などの金融に関わる業務に携わり、「財政・金融のプロフェッショナル」として地域に貢献しています。

さらに、財務省及び金融庁の施策を広報するとともに、地域の意見・要望や経済の実態を把握し、国の施策にも反映させるなど、地域と国とを結ぶ重要な役割を果たしています。

加えて、災害発生時には、貸与可能な国有財産情報の地方公共団体への提供や、金融機関へ預金引き出し特例措置の要請を行うとともに、被災した道路・河川等の災害復旧事業費を決定するために災害査定の上会を行うなど、災害復旧のためにも尽力します。

財務部の機能を活かした地域・まちづくりへの支援

財務部では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等を踏まえ、国有財産のほか、財政・金融・経済などの各機能をフル活用して、各省市、地方公共団体、金融機関などの関係機関と連携し、「公的資産の最適利用を通じたまちづくりへの支援(エリアマネジメント)」に取り組むとともに、「地域活性化・地方創生」を推進しています。

このような取組を通じて、地域との連携をより深めながら、地域の課題解決やまちづくりを支援することなどにより、財務省の総合出先機関としての1つの使命を果たしています。

地域金融・投資者保護のために

日本においては、銀行や信用金庫、信用組合などの金融機関が行う間接金融が、企業等の経済活動に大きな役割を果たしています。また、証券会社などの金融商品取引業者は、直接金融において重要な役割を果たしています。

こうした間接金融あるいは直接金融の機能を安定的に維持するために、金融監督・検査部門は、金融機関の経営の健全性の確保や市場の公正性・透明性の確保及び投資者保護のため、密接に連携を保ちながら、業務を行っています。



沖縄総合事務局広報誌「群星」



地域のニーズに応じた国有財産の有効活用を図ることで、まちづくりに積極的に貢献しています。(名護市真真屋運動広場整備に係る国有地の売買契約調印式)

農林水産部

- | | | | |
|--------|----------|--------------|---------------|
| ●農政課 | ●消費・安全課 | ●那覇農林水産センター | ●宮古伊良部農業水利事業所 |
| ●経営課 | ●食料産業課 | ●名護農林水産センター | ●石垣島農業水利事業所 |
| ●農村振興課 | ●林務水産課 | ●宮古島農林水産センター | |
| ●生産振興課 | ●総務調整官 | ●石垣農林水産センター | |
| ●統計調査課 | ●首席企画指導官 | ●土地改良総合事務所 | |

食を支え、次世代へとつなげていく仕事

農林水産部は、内閣府が所掌する沖縄振興の一環としての農林水産業の振興や農林水産省の地方農政局が所掌する業務、林野庁の民有林に関する業務及び水産庁の所掌する業務の一部を実施する組織として設けられています。生命(いのち)を支える「食」と、安心して暮らせる「環境」を未来に継承するという農林水産省の使命を、地域・現場レベルで遂行しています。このような中、農林水産部では、農林漁業の経営安定や構造の強化、食の安全・安心確保、農山漁村の活性化など、幅広い取組を行っています。具体的には、①意欲ある経営体の育成に必要な生産・加工施設の整備、農地やかんがい排水施設、林道、漁港等のインフラ整備、グリーンツーリズムの推進など、各種事業に対する助成・指導等のほか、②食品表示の監視・指導など食の安全・安心確保のための業務、③漁業秩序の維持・安定のための漁業取締りなどの業務について、本局の8つの課に加え、各地域の農林水産センター、国営農業水利事業所等の総勢約250名の職員が担っています。

離島地域などの地域社会の維持・発展を担う重要な産業

沖縄の農林水産業は、亜熱帯地域の温暖な気候の下、県内各地の豊富な地域資源を活かして、多様な農林水産物を供給するとともに、地域社会の維持・発展を担う重要な産業であり、特に、沖縄本島以外の離島では、就業人口に占める農林水産業への就業割合が高いなど、地域の雇用や経済を支える極めて重要な役割を果たしています。こうした中、近年では、担い手の減少・高齢化などの課題への対応に加え、農林水産物等の輸出や6次産業化を通じ、拡大する国内外の食市場を取り込み、農林水産業や食品産業の所得向上を図っていくなど、沖縄の農林漁業者・食品事業者が将来にわたり夢と希望を持って意欲的に取り組んでいける環境づくりが求められています。このように、農林水産部では、地域で活躍する農林漁業者等と間近に接し、その取組を後押しするなど、様々な分野で活躍できるチャンスに満ちあふれています。



地下ダムから汲み上げられた農業用水をさとうきびに散水している様子(宮古島市)

経済産業部

- | | |
|--------|-----------|
| ●政策課 | ●環境資源課 |
| ●企画振興課 | ●エネルギー対策課 |
| ●地域経済課 | ●石油・ガス課 |
| ●商務通商課 | |
| ●中小企業課 | |

沖縄の経済産業政策を担う

経済産業部では、経済産業省や地方公共団体、経済団体等と連携をとりながら、沖縄の成長産業の育成や新規創業の促進、中小企業の経営や技術開発に対する支援、海外展開支援、地域資源の活用支援といった産業振興から、消費者保護行政や電力・ガスの安定供給、省エネルギー技術の研究開発及び普及の推進、資源の有効活用に至るまでの、幅広い経済産業政策を担っています。特に産業振興については、「沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の交易・交流拠点となる「アジアゲートウェイ」へと発展させること」を基本コンセプトとした、沖縄成長産業戦略に基づき、沖縄が持つポテンシャル(「地の利」「知の基盤」「地域資源」)を活かし、「国際物流ハブ関連産業」「地域資源活用産業」「健康・バイオ・IT産業」を重点戦略産業と位置付けた戦略的取組を実施しています。

コーディネート力と自由な発想力で沖縄の未来を拓く

スピーディーに変化する時代や地域のニーズを捉え、自由な発想を持って自らの業務の幅を広げ、関係者と連携して業務に取り組むことも我々の仕事の醍醐味と言えます。その例として当部では、様々な関係機関と連携し、海外展開や農業成長産業化、医工連携、スポーツ産業創出、地方創生等の促進に取り組んでいるところです。海外展開については、アジア市場に向けてビジネスを拡大する企業を支援するため、「沖縄国際ハブクラスター」活動を実施し、企業間連携による研究会や広域ビジネスマッチングなどの活動を通じて、市場開拓や事業化に向け取り組んでいます。同活動を推進するため、沖縄の地域商社、物流事業者、製造業者、大学、経済団体、金融機関、行政により構成された沖縄国際ハブクラスター推進会議を開催し、活動の方向性等の検討も行っています。また、局内各部署と連携し、地域の稼ぐ力について意見交換を行う「地域経済懇談会」や、沖縄をアジアにおけるスポーツ産業の拠点にすることを目指して「沖縄スポーツ産業クラスター検討会議(アドバイザーボード)」等を開催しています。



地域経済懇談会の様子

開発建設部

- | | | | | | | | |
|----------|---------------|-------------|----------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| ●管理課 | ●港湾計画課 | ●建設産業・地方整備課 | ●営繕課 | ●営繕調査官 | ●造正業務管理官 | ●南部国道事務所 | ●宮古沖縄記念公園事務所 |
| ●用地課 | ●港湾建設課 | ●河川課 | ●営繕監督保全室 | ●技術管理官 | ●総括技術検査指導官 | ●北部国道事務所 | |
| ●防災課 | ●空港整備課 | ●道路建設課 | ●企画調整官 | ●港湾空港指導官 | ●低周波保全官 | ●那覇港湾・空港整備事務所 | |
| ●情報通信技術室 | ●港空空港防災・危機管理課 | ●道路管理課 | ●総務調整官 | ●公園・まちづくり調整官 | ●品質確保対策官 | ●平良港湾事務所 | |
| ●技術管理課 | ●建設行政課 | ●建設工務室 | ●技術企画官 | ●港湾空港情報管理官 | ●北部ダム統合管理事務所 | ●石垣港湾事務所 | |

沖縄の未来を築くインフラ整備

沖縄の振興・発展のためには、沖縄の優位性を活かした自立型経済を構築していくことが重要であり、これを支える社会資本整備を着実に進めていく必要があります。開発建設部は、国土交通省の地方整備局が所掌する事務を実施する組織として設置されており、沖縄における道路、ダム、港湾、空港、海岸、砂防、公園及び官庁施設のうち国が直轄で施行することとなっているものについて、その計画、調査、建設及び改良に関する業務と一般国道の指定区間、ダム及びダムに関する河川、開発保全航路及び国営公園の維持管理を行っています。具体的には、那覇空港滑走路増設事業、大型クルーズ船に対応した岸壁の整備、那覇市の混雑時旅行速度の全国ワースト1からの脱却を目指し、那覇港への臨港道路も含め、沖縄本島西側の浦添北道路から糸満道路までの道路整備、国営公園(首里城地区・海洋博覧会地区)の整備、国家機関の建築物の整備・保全など、様々な事業を展開しています。さらに整備のみならず、インフラの維持管理・更新などを着実に行うことでインフラの長寿命化を図っています。また、地方公共団体が実施する社会資本整備事業に関する交付金等の事務や建設業、不動産業、測量業等の許可・登録、指導監督などの事務もを行っています。

開発建設部を支える技官・事務官

開発建設部では約370名の職員が勤務しており、うち約4割の職員が沖縄総合事務局本局にて勤務しています。そのほか約6割の職員は北部ダム統合管理事務所、南部国道事務所、北部国道事務所、那覇港湾・空港整備事務所、平良港湾事務所、石垣港湾事務所、国営沖縄記念公園事務所の7事務所に勤務しています。また、土木職、建築職、電気職、機械職などの高い専門性を有する技官と行政職としての事務官の内訳は約7割が技官、3割が事務官という構成になっており、開発建設部では技官と事務官が一体となって、様々な事業を推進しています。今後も国土強靱化という使命を担うべく組織体制の構築を行っていく必要があり、積極的に仕事に取り組む高い意欲を持った人材を求めています。



開発建設部が整備した沖縄美ら海水族館

運輸部

- | | | | |
|--------|---------------|----------|-----------|
| ●企画室 | ●車両安全課 | ●海事技術専門官 | ●八重山運輸事務所 |
| ●総務運航課 | ●海事振興調整官 | ●海技試験官 | |
| ●船舶船員課 | ●国際観光調整官 | ●外国船舶監督官 | |
| ●陸上交通課 | ●海事保安・事故対策調整官 | ●陸運事務所 | |
| ●監査指導課 | ●運航労務監理官 | ●宮古運輸事務所 | |

安心・安全で利便性の高い交通環境の実現を目指して

運輸部では、県民生活に欠かすことのできない交通機関の輸送力とその安全の確保を図るため、船舶、バス、タクシー、モノレール、トラック等による運送事業についての許認可及び指導監督等を行うことにより、安心・安全な公共交通輸送サービスの発展を図っています。

生活交通の確保、維持、改善

地域の特性に応じた生活交通の確保維持を図るため、陸上交通では、過疎地域等を運行する幹線バス、デマンドタクシー等への運行の支援、バス車両の更新、海上交通では、沖縄本島、宮古島、石垣島とその周辺離島間を結ぶ離島航路について、航路の確保、維持・改善を図るための支援及び指導を行っています。

観光の振興

沖縄のリーディング産業である観光に関し、ビジット・ジャパン地方連携事業では、海外旅行博への出展、旅行会社等との商談会の開催、海外の旅行会社・マスコミ等の招請等を行い、外国人観光客の沖縄への誘致を行うとともに、地方自治体や観光関係者等と連携して、地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる取組を支援しています。



安心・安全で利便性が高く、地域に優しい交通の実現と沖縄観光の更なる活性化を目指しています。

安全の確保、交通公害の防止

安全の確保と交通公害の防止等を図るため、船舶については、船舶の構造・設備・機関等が技術基準に適合していることを定期的に確認するための検査を実施しています。また、20トン以上の船舶に対しては日本国籍の船舶であることを証明する船舶国籍書を交付しています。一方、日本に入港する外国船舶については、PSC(ポートステートコントロール)を実施して、船舶の構造・設備等が国際条約に適合していることを確認しています。自動車については、陸運事務所において、自動車の安全の確保、公害の防止を定めた保安基準に適合しているかどうかを定期的に確認し、適合している自動車に対して、自動車検査証を交付しています。併せて、道路を通行している自動車を対象とした街頭検査を実施し、整備不良車や不正改造車の排除に取り組んでいます。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成14年度採用・試験区分／行政
総務部総務課防災対策専門職

伊敷 茂浩
SHIGEHARU ISHIKI

- 平成14年10月 総務部跡地利用対策課対策係
- 平成16年 4月 総務部人事課給与係
- 平成18年 4月 内閣府大臣官房会計課給与第1係
- 平成20年 4月 総務部調査企画課総括係
- 平成21年 4月 総務部会計課出納係
- 平成23年 4月 総務部会計課支出負担行為第一係長
- 平成26年 4月 総務部情報管理官付情報管理専門職
- 平成28年 4月 総務部総務課防災対策専門職



自分自身の成長が
地元への社会貢献に

国の仕事というものに関する予備知識が浅いま、沖縄の振興という言葉に惹かれ、こんな自分でも何かしら地元への社会貢献ができるのではないかと思います。入局を志望。特定の分野だけではなく、幅広い視点から国の施策を見渡せそうな総務部を希望しました。

これまで会計関連業務に携わることが多かったのですが、予算執行に関する一連の事務を通じて、沖縄総合事務局が国の機関として、様々な分野で沖縄振興の一端を担っていることが分かり、大変勉強になりました。

また、その頃に得た国の会計制度に関する知識は、他の業務でも必要とされる基礎知識であり、学ぶ機会を与えていただいたことにとても感謝しています。

入局4年目に内閣府本府へ外向し、東京勤務という大変貴重な経験をすることができました。特に驚かされたのは、自分と同世代の職員達の仕事への熱意やその厳しさ、社会人として自立した心で。上級官庁での勤務は視野を広げる機会となり、自分自身の成長にもつながる有意義な経験となりました。

総務部は組織の内部管理が主であるため、部門間の総合調整を行う場面が多く、間接的に沖縄振興策に携わることになります。上級官庁や他部門との人事交流も盛んに行われており、何事にも意欲的に取り組む心構えがあれば、様々な刺激を得られます。向上心あふれる皆さんの入局をお待ちしています。

沖縄が被災した場合の課題に取り組む

現在、私が所属している総務課では、広報、文書審査や防災・危機管理に関する事務などを担当しています。

その中で私は、当局における防災・危機管理に関する各種規定の整備や災害対策本部の事務運営、防災訓練の企画立案等を担当していて、実際に災害が発生した時は職場に泊まることもあります。

明和の津波をご存知ですか？島嶼県である沖縄が大規模地震や大津波に被災した場合、どのように復旧復興を進めるのかという課題に対し、関係行政機関と一緒に取り組んでいます。

この部署は、防災を通じた沖縄への貢献、様々な出会いや経験ができ、色々な事柄に気付き力を培うことができるともやりがいのある環境だと思います。

私のプライベートタイム



育児・家事に大奮闘！
大変だけど充実

仕事以外の時間は娘2人の育児に奮闘。夫婦共働きなので家事に育児に積極的に取り組んでいます。娘の幸せそうな顔を見ると心がとても和みます。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成14年度採用・試験区分／行政
宮古財務出張所国有財産管理官

外間 史宜
FUMIYOSHI HOKAMA

- 平成14年 4月 財務部財務課経済調査室(金融指標等担当)
- 平成16年 4月 財務部金融監督課(企画調整・地銀担当)
- 平成17年 7月 財務省主計局総務課管理調整係
- 平成19年 7月 財務省主計局防衛第3係
- 平成21年 7月 財務部理財課(主計担当)
- 平成22年 7月 財務部財務課経理係長
- 平成24年 7月 財務部金融監督課調査官
- 平成25年 7月 財務部財務課経済調査室調査官
- 平成27年 7月 宮古財務出張所国有財産管理官



文学系男子の自分が
財務のプロに

華やかな都会生活に憧れて東京近郊の大学に進学したものの、2年が過ぎた頃から急に沖縄が恋しくなり、県人会青年部で三線などの活動を始めました。東京から沖縄を見つめ直したことで、「これからの沖縄に携わる仕事がしたい」、そう思うようになり沖縄総合事務局を志望しました。

経済調査室に所属していた時、沖縄の経済動向や見直し等を調査し、親省庁である財務省にその結果を報告し国の施策や立案に活かすとともに、調査結果を発表していました。調査では多くの方が知っている大企業から、職員も少ない小さな町工場まで訪問し、様々な「生の声」に触れ、沖縄の経済を肌で感じる事ができ、大変勉強になりました。

また、4年間の財務省勤務では、主計局で国の予算編成やその支出状況などをチェックする事ができました。経験も浅かったのですが、できる事は限られていましたが、担当する省庁の予算を、相手省庁と議論しながら無駄のない予算をつくり上げる。中央でしか経験できないような仕事に携わったことは、自分の人生の財産にもなっています。

財務部は、他の部署と比べて職員数が少ない分、職員同士のつながりも深く、家庭的な雰囲気があります。大学で文学部の歴史学専攻だったこともあり、関係する仕事はほとんど無知の状態だったのですが、ここまでやってこれたのも、財務部に関わる皆さんの支えや協力があってこそだと思っています。

臨機応変に仕事をこなす力が身に付く

現在、私が所属している宮古財務出張所は、宮古島市や多良間村における財務部に関する仕事、主に財務省が管轄する国有財産の管理や売却等に関する事務、合同宿舎の管理などを行っており、那覇の財務部と連絡を取り合いながら進めています。

宮古財務出張所は非常勤職員も含めて職員3名の小さな職場ですが、仕事は多岐にわたり、優先順位などをしっかり把握していないと、関係する皆さんに迷惑をかけることになります。初めて行う仕事も多く、突発的なことや想定外のこともあります。臨機応変に仕事をこなす応用力を身に付ける良い機会になっています。

私のプライベートタイム



宮古島の自然の中で
心も体もリフレッシュ！

週末など時間のある時はウォーキングやジョギングをして身体をリフレッシュ。宮古島の青い空や海は気持ちを前向きにさせてくれますよ。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成17年度採用・試験区分／行政
財務部統括国有財産管理官付国有財産管理官
(宿舍管理担当)

金城 弘幸
HIROYUKI KINJO

- 平成17年 4月 財務部統括国有財産管理官付(調整担当)
- 平成19年 7月 財務部管財総括課(宿舍担当)
- 平成21年 7月 財務部金融監督課(企画調整・地銀担当)
- 平成22年 7月 財務省理財局国庫課通貨企画調整室貨幣回収準備資金係
- 平成23年 7月 財務省理財局国庫課通貨企画調整室総合資金係
- 平成24年 7月 財務省理財局国有財産監査室計画策定係
- 平成25年 7月 財務省理財局国有財産調整課宿舍予算2係長
- 平成26年 7月 財務部統括国有財産管理官付国有財産管理官(宿舍管理担当)



多くのことを経験
魅力ある仕事

沖縄県だけでなく他県でも仕事をする機会が欲しかったこと、そして、沖縄総合事務局が国の総合出先機関として幅広い業務を担っていることから、様々な体験ができるのではないかと考え志望しました。特に財務部は、県や市では経験できないような業務があり、財務部への所属が第一希望でもあったので、希望どおりとなり非常に喜んだのを記憶しています。

財務省理財局に出向した際には貨幣の製造枚数を策定したり、古くなったお金を回収しアルミや銅として一般企業に処分するといった業務を1年やっていましたが、問い合わせをしてくる方のほとんどがコインマニアで、そういった対応をしていくにつれ自分自身も記念貨幣などが好きになってしまいました。東京ならではの業務で楽しかったです。

また、出向の際には国有財産(宿舍)に関する業務を行う機会もあり、業務の指針としていた通達等について、自分自身でも疑問に思っていたことや各財務局の担当者の意見を踏まえ、見直し等を行ったことが印象に残っています。本省と地方では壁があるのかなと思っていましたが、財務局が業務をしやすい環境整備をすることが本省の仕事だと感じることができ、非常に良い経験となりました。

財務部はスポーツマンタイプの先輩が多く、元気で活気のある部です。業務上、シビアに対応する場面もありますが、業務外では近隣の居酒屋で後輩を含めて意見交換するなどメリハリのある楽しい職場です。

地域住民の声にも触れられる貴重な業務

現在、私が所属する統括国有財産管理官室では、国有地の管理や公務員宿舍の維持管理を行っており、例えば、不要になった宿舍の跡地などを地元の要望を踏まえ、保育園用地として処分し、有効活用を図ったり、一般競争入札を行うなど、まさに不動産業のような部署です。

私自身は、公務員宿舍の入退き対応や宿舍の改修・修繕等の対応、公務員宿舍の設置等にかかる審査などを行っており、国有地の隣接者から草刈り等の要望があれば自ら駆けつけたりもします。スピード感が求められ、大変なところでもあります。地域住民の声にも触れられる貴重な業務だと感じています。

私のプライベートタイム



遊び盛りの子供達と
海、公園、街へ！

休日は家族で外出し、楽しく過ごしています。サッカーが趣味なので子供にも興味をもたせ、将来一緒にプレーするのが楽しみです。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成10年度採用・試験区分／農業土木
農林水産部農村振興課農村整備係長

島袋 総子
FUSAKO SHIMABUKURO

- 平成10年 4月 農林水産部土地改良課設計係
- 平成11年 4月 宮古農業水利事業所工事課設計係
- 平成13年 1月 羽地大川農業水利事業所調査設計課設計第二係
- 平成14年 4月 羽地大川農業水利事業所管理課業務係
- 平成15年 4月 羽地大川農業水利事業所工事第二課施設機械係
- 平成15年10月 羽地大川農業水利事業所工事第二課施設機械係長
- 平成18年 4月 農林水産省関東農政局土地改良事務所システム開発課業務システム係長
- 平成21年 4月 土地改良総合事務所建設技術課環境技術係長
- 平成24年 4月 農林水産部土地改良課環境指導係長
- 平成25年 4月 農林水産部土地改良課防災係長
- 平成26年 4月 農林水産省農村振興局整備部
農地資源課経営体育成事業指導班指導第2係長
- 平成28年 4月 農林水産部農村振興課農村整備係長



10年先50年先を考えた
スケールの大きな仕事

学生時代は自然環境と技術職に興味があったため、大学は農学部に進み農業土木を専攻しました。就職活動時には専攻学科に関連した職業として、行政職も面白そうだなと興味を持ったことが、入局を考えるきっかけでした。国家公務員だと全国的に広く仕事を経験できることも、私にとっては魅力的でした。

仕事は、農業の生産基盤を整備する土木工事発注に関する業務が基本ですが、実際は、調査・計画・実施・管理と各段階があり多様です。事業所に配属された際には、畑に水を送るポンプ施設整備を担当し、ポンプ、電気盤、無線設備、建屋建築など、土木工事以外の施工にも携わり、さらにその地域住民や環境に対する配慮も必要であったため、実に様々な経験をしました。

また、工事発注のための積算や契約に関する事務のシステム管理の部署に配属された時は、システム開発業者や関連部署とのデータ連携の調整等を行いました。情報技術は専門外のためいろいろと大変でした。ITは得意ではなかったのですが、知る度に面白くなり、知識も増えました。

農林水産部の職員は基本的に事務職も技術職も関係なく、農政に関する様々な職務を担当していきます。そのため、得意なことや苦手なことを問わず、いろいろな仕事をするようになります。厳しい反面、新たな分野に毎回チャレンジする、飽きる間のない職場といえます。

再生可能エネルギー導入促進にも従事

現在、私が所属する農村振興課では、沖縄の地域特性や農業の変化等に適した農業・農村の整備を目的とし、農業用水の現状や開発可能な用水量の把握、開発計画策定の調査等を行っています。私自身は、農業農村整備事業に関する予算の取りまとめと、農地の整備や農村生活環境整備に関する事業を担当。また、太陽光などの再生可能エネルギー導入促進も担当しています。

農業農村整備事業の多くは、計画から完了まで長い年月を要し、効果もすぐに目に見えません。時には苦勞を伴うこともありますが、安全・安心な農作物の生産を支える重要な事業です。10年後50年後の未来を考え農業農村の課題解決を行うスケールの大きな仕事です。

私のプライベートタイム



好きな旅行を満喫
富士山も制覇！

もともと旅行が好きなので、転勤先の付近の名所などを巡り、その土地の自然や観光を楽しんでいます。富士登山にもチャレンジしましたよ！

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成16年度採用・試験区分／行政
農林水産部消費・安全課消費経済係長

米須 美奈子

MINAKO KOMESU

- 平成16年 4月 那覇統計・情報センター（経営統計担当）
- 平成18年 4月 農林水産部統計調査課構造統計第一係
- 平成21年 4月 農林水産部農政課経理第一係
- 平成24年 4月 農林水産部農政課庶務係
- 平成25年 4月 農林水産部農政課情報係
- 平成27年 4月 農林水産部消費・安全課消費経済係長



消費者と生産者の「声」に添えていく

私が公務員を目指したのは、女性として充実した長期的なキャリアプランを描けたと考えたからです。大学で国際的な言語や文化を学ぶ中で、諸外国にも負けない沖縄の魅力や可能性をもっと外へ広めたいと思い、沖縄振興に携わることのできる沖縄総合事務局に入局しました。また、官庁訪問の際に、先輩職員が沖縄の農林水産業について熱く話をしている姿が印象深く、生きる糧である「食」を支える「農林水産業」に興味を抱き農林水産部を志望しました。

採用1年目に農林水産統計調査の業務に携わり、業務を通して農家さんの現状や課題など現場の声を聞くことができました。当時は、農林水産業の知識を身に付けるだけで精一杯でしたが、「現場の声に添えていくこと」が業務を行う上での原点となり、沖縄の農林水産行政の発展に少しでも役立つよう、日々の業務に励んでいます。

「食」や「農林水産物」は私達を健康にし、笑顔や喜び、活力を与えてくれます。沖縄の農林水産物は、各地域や島ごとの生産者や事業者の努力と創意工夫によって生産されるとともに、各地域の貴重な地域資源でもあります。農林水産部は、生産基盤の整備を始め、農林水産業に携わる人々の取組を支援するとともに、多彩な農林水産物・食品を国内外へ発信する取組を推進し、沖縄の農林水産業の発展に貢献する重要な役割を担っています。

消費者の視点を大切に「食」の安全を図る

現在、私が所属する消費・安全課は、消費者の視点を大切に、「食」の安全と安定供給を確保するための業務を行っています。食品表示やトレーサビリティ、家畜・植物防疫への取組を始め、消費者や関係者に分かりやすく情報提供を行い、意見をいただくながら、消費者が「食」に対する信頼感を持てるように、食品の安全向上のための施策の推進に取り組んでいます。

私自身は、食品トレーサビリティの推進、消費者への情報提供や意見交換の実施、消費者相談業務などを担当。「科学根拠に基づいた情報は有り難く、食生活の中で役立てたい」など消費者の意見が聞けた時にはやりがいを感じます。

私のプライベートタイム



子供と一緒にのんびり楽しく。

休日は家族でのんびり過ごし、天気の良い日は公園や海辺で遊びます。3人の育児は大変な時もありますが子供の笑顔が一番の癒しです。



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成18年度採用・試験区分／電気・電子・情報
経済産業部政策課統計・情報システム係長

石原 亮太

RYOTA ISHIHARA

- 平成18年10月 経済産業部中小企業課企画支援係
- 平成20年 5月 経済産業部那覇産業保安監督事務所保安監督課電力安全係
- 平成22年 5月 経済産業部環境技術環境局基準認証政策課計画係
- 平成24年 5月 経済産業部環境資源課環境対策係
- 平成25年 4月 経済産業部環境資源課環境資源係
- 平成26年 4月 経済産業部政策課統計・情報システム係長



ビジネス感覚も必要な手応えある業務にやりがい

私が沖縄総合事務局を志望した当時、経済産業部は「OKINAWA型産業振興プロジェクト」を実施しており、職員が企業に対してきめ細かにサポートを行っているのを見て、沖縄の企業と共に沖縄経済発展のために働ける場であると魅力を感じ、志望しました。

これまでの業務のうち環境資源課での「環境ビジネスアイランドマッチング事業」が最も印象に残っています。本事業は、沖縄の企業と県外企業とで事業間連携が可能か商談してもらうもので、他の経済産業局と連携しながらマッチング企業を探すのですが、条件に合った企業同士をつなぐことが難しく苦労しました。そのため、上手く連携までつながった時は、ビジネスの難しさを感じながらも感慨深いものがありました。

入局して4年目には、経済産業省産業技術環境局基準認証政策課へ出向し、国際標準等を担当したことも印象に残っています。日本の技術・製品を世界へ普及させるために、世界各国を相手にするグローバルな仕事に携わることができ、私自身の世界観も広がりました。

経済産業部では、経済と産業の発展、鉱物資源やエネルギー関係業務など幅広い業務を行っています。その中でも経済と産業の発展の分野では、企業のアジア展開支援、健康・医療産業、スポーツ産業の支援など、政策的に様々なチャレンジを行っており、沖縄経済の成長のための取組等に携わることができます。幅広い業務に携わることで、知見が広がり自分自身の成長にもつながっていると感じます。

沖縄経済の把握に努め分析を行う

現在、私が所属している政策課は、経済産業部の所掌事務に関する総合調整、人事・広報・予算・決算・会計・調査・分析、情報システム関係の業務など、部全体のとりまとめを行っています。私自身は統計業務と情報システム関係の業務を担当しており、調査に関する調整や統計データを用いて、沖縄経済の把握に努め、分析を行っています。

政策課は部全体の取りまとめ役ということもあり、国の施策や他課のさまざまな取組に関する最新情報が入ってきます。世の中の動きを把握しつつ、統計データ等を活用しながら沖縄経済を分析していくという業務は難しい面もありますが、やりがいを感じます。

私のプライベートタイム



休日は家族最優先でババカ発揮！

現在、小さな息子がいるので休日は一緒に買い物したり、公園に行ったりなど家族で過ごすことが多いです。正月には息子と一緒に餅つきしました！



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成10年度採用・試験区分／行政
経済産業部商務通商課消費経済室消費経済係長

佐久本 ゆかり

YUKARI SAKUMOTO

- 平成10年 4月 通商産業部中小企業課企画指導係
- 平成13年 5月 経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課総括係
- 平成15年 5月 経済産業部産業課産業政策係
- 平成17年 5月 経済産業部政策課総括係
- 平成18年 5月 経済産業部環境資源課石油天然ガス係
- 平成20年 4月 経済産業部電力・ガス事業課ガス係長
- 平成23年 4月 総務部公正取引室下請取引調査官
- 平成26年 4月 経済産業部商務通商課消費経済室消費経済係長



自分の企画が実現
やり甲斐ある仕事

沖縄は全業種に占めるサービス業の割合が高いのが特徴ですが、私の身内が食品製造業に関わっていることもあり、サービス業に負けないぐらい製造業が盛んな地域にしたいと思い、経済産業部中小企業課を希望しました。

20代の頃に伝統工芸品の振興業務を担当しましたが、当時、伝統工芸品は価格が高く、日常での使用頻度が低いことが課題となっていました。そこで、作り手と協働し、伝統工芸品を用いたテーブルコーディネートを実施。沖縄の産業まつりや県外の展示会に出展し、また、識名園ではお茶会と絡めて展示するなどして、多くの方から「伝統工芸品を使ってみたいくなった」との声をいただき、本当にうれしかったのを覚えています。自分が企画立案した事業が現実になった時は、やり甲斐を感じますよ！

また、経済産業省に出向した際には、地域振興のための施策立案を担当する部署に配属され、青森県板柳町というところへ出張し、地域資源であるりんごを用いてジュースやジャム等を製造し、地域デザイナーとのコラボにより、贈答用として高付加価値化製品の開発事例を学ぶことができました。このような貴重な経験が今の業務に活かされていると思います。

経済産業部を大きく分けると、産業振興を行う業務と、事業者等を監督する規制業務の2つがあります。産業振興業務では自分で企画立案を行う機会があり、事業者間のマッチング等の業務に挑むことができます。規制業務については、研修等を通して多くを学び、着実に指導・監督できる環境が整っています。

自主性を尊重する部署でやる気を発揮

現在、私が所属する消費経済室では、特定商取引法、割賦販売法、消費生活用製品安全法などの法律に基づき、消費者利益の保護と製品安全の確保などの消費者行政に取り組んでいます。

私は主に割賦販売法を担当し、「友の会」「冠婚葬祭互助会」といった前払式許可業者やクレジットカード業者などの登録信用購入あっせん業者の指導・監督業務を行っていますが、当室では決まった業務にとらわれず、業界の状況を調査したり、業務のマニュアルを作成するなど、職員本人の自主性を尊重する雰囲気があります。また、私自身、国際室の業務も担当しており、自分で企画立案を行い、海外展開したい事業者間のマッチングを行うなど、非常に充実した仕事だと日々感じています。

私のプライベートタイム



休日は自然を楽しむ
気力・体力、充電！

家族で石川岳などに登山したり、海沿いをサイクリングして自然を満喫し仕事もオフも充実できるような、家族でスケジュールを決めています。

社会基盤の整備という
大きな仕事に携われる

インフラ整備について、全体的な整備計画から携わり、様々な地域での経験も積みたいと考えていたので国家公務員を志望しました。ちょうど採用の時期に、那覇空港滑走路増設の意見照会を行っているところで、自分もこの事業に何らかの形で関わりたいなと思い、沖縄総合事務局を志望しました。

東日本大震災があった頃、予算要求の担当をしていて、その内容が平良港の耐震強化壁でした。大地震に耐え、被災時の物流を確保できる岸壁の整備です。私自身は、業務で直接東日本大震災に関わることはなかったのですが、自分の仕事が防災対策に貢献できればと考え、業務に取り組みました。現在は、その予算要求が通り、現地での整備が着々と進んでいます。

採用1年半で中部地方整備局に出向した際には、名古屋港などの日本の物流を支える大きな港の工事に関わる業務に従事しました。沖縄ではなかなか体験できない規模の工事で、印象に残る業務の一つとなっています。

開発建設部は、自分の担当した仕事に分かりやすい形になって現れるので、やっていることの大きさを実感しやすいと思います。インフラ整備であれば、整備した岸壁や道路、橋梁などが地図に残ります。予算を担当していれば、国会での予算成立などは身近に感じる出来事になります。また、防災訓練や有識者を招いての委員会など、開催したことがマスコミに取り上げられることが多く、世間に注目される分、責任の重い仕事をしたと感じます。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成17年度採用・試験区分／土木
那覇港湾・空港整備事務所那覇空港新滑走路整備推進室
第三工事課第一工事係長

平山 千尋

CHIHIRO HIRAYAMA

- 平成17年10月 開発建設部港湾空港建設課積算係
- 平成18年 4月 開発建設部港湾計画課設計審査係
- 平成19年 4月 国土交通省中部地方整備局港湾空港部港湾空港整備・補償課港湾係
- 平成21年 4月 開発建設部港湾計画課計画調査係
- 平成23年 4月 開発建設部港湾計画課港湾整備係
- 平成25年 4月 那覇港湾・空港整備事務所中城湾港出張所第二工事係長
- 平成26年 4月 那覇港湾・空港整備事務所中城湾港出張所第二工事係長
- 平成27年 4月 那覇港湾・空港整備事務所第一工事課第一工事係長
- 平成28年 4月 那覇港湾・空港整備事務所那覇空港新滑走路整備推進室第三工事課第一工事係長



只今那覇空港第2滑走路の整備に尽力中

現在、私が所属している部署は、那覇空港の第2滑走路の整備を担当し、予算要求から調査・設計・積算・工事まで幅広く行っています。私自身は空港内を通行する車両のための道路整備・滑走路に設置する進入灯の整備を担当し、現場で状況確認をしたり、工事を進める上で必要な調整を施工業者や関係者で行っています。

滑走路の増設は国内でもなかなか無い事業であり、それを沖縄で経験できるというのはとても貴重だと考えています。また、第2滑走路は沖縄の発展を支えていく施設になるので、その整備に携われることは喜ばしく、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

私のプライベートタイム



リゾート気分に浸り
活力をチャージ。

まとまった休みがとれる時は家族と本島内のホテルに泊まり、プールで泳いだり温泉に入ったりと、リゾート気分を味わいリフレッシュしています。



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成22年度採用・試験区分／電気・電子・情報
北部ダム統合管理事務所電気通信課電気通信第二係長

国吉 真史

MASAFUMI KUNYOSHI

- 平成22年 4月 南部国道事務所交差対策交通対策係
- 平成23年 4月 開発建設部防災課情報システム室情報通信技術係
- 平成26年 4月 開発建設部情報通信技術室情報通信技術係
- 平成27年 4月 北部ダム統合管理事務所電気通信課電気通信第二係長



やる気を支援する
恵まれた環境を活かし向上

大学で専攻していた電気通信の分野で、自分のスキル向上を目指す職場で働きたい。沖縄のためになる仕事をしたいと思い入局を志望しました。これまでの業務で印象的なのは、無線局の検査を初めて受けた時のことです。国土交通省では災害時でも通信が途絶えることの無いよう、独自に光回線や無線回線を整備しており、職員を無線従事者に選任し管理を行っています。各建物に設置された無線局だけでも100局以上保有しており、もし不合格になった場合、非常時に沖縄だけ本土と通信がとれない状態となります。検査ではとても緊張しましたが、日頃から点検や書類整理を行っていたので無事に合格。その時にはとても安心したことを覚えています。また、電気通信の部署に配属された際、電気通信設備等の整備に必要な予算を確保するため、本省へ事業計画を説明することがありました。当初は、管理している設備の量が膨大にあり、何のことも理解できないことも多く苦労しましたが、事業計画、図面を作っていくなかで、今後、これらの設備について学べるのかとワクワクしました。

開発建設部は、上司や先輩との距離が近く、すぐに相談できる職場です。若手であってもやる気があれば責任ある仕事をどんどん任せてもらえ、また、全国的な動向や最新の技術についても学ぶことができ、希望すれば本省や地方整備局と人事交流することも可能です。視野を広げたい方、向上心のある方にも満足いく職場だと思います。

最新の技術を学び時代の進化に対応

現在、私が所属している北部ダム統合管理事務所では、沖縄県にある国が管理している9つのダムの電気通信設備及び機械設備の整備、実施計画、施工、検査その他の工事、運用及び保守管理を行っています。私自身は、電気通信設備の整備・実施計画の作成、ダム工事の現場管理、日々の設備の保守管理やそれに付随する関係機関への対応を行っています。

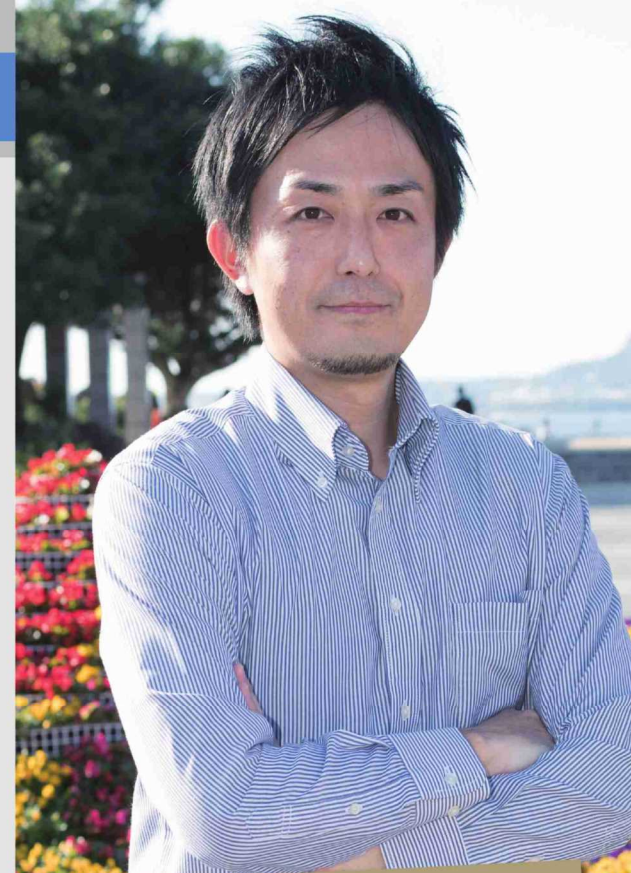
当部署は、電気・通信及び電子応用技術を駆使し、社会資本の有効活用や高度な維持管理、効果的な災害対策を行うため、これに必要な電気通信関係の設備計画や整備、システムの構築等に携わります。その中で技術も学ぶことができるやりがいのある仕事です。ぜひ開発建設部と一緒に頑張ってみませんか？

私のプライベートタイム



行き先は子供達が
喜ぶところ！

休日は家族との時間を大切に、子供達の好きなキャラクターショーに行ったりと楽しんでいます。子供の成長していく姿を見るととても癒されます。



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成14年度採用・試験区分／電気・電子・情報
国営沖縄記念公園事務所工務課建築設備係長

石垣 太士

TAKASHI ISHIGAKI

- 平成14年 4月 開発建設部営繕課設備積算係
- 平成19年 4月 国土交通省九州地方整備局営繕部設備課設備積算係
- 平成21年 4月 開発建設部営繕課設備積算・環境係長
- 平成24年 4月 開発建設部営繕技術専門官
- 平成26年 4月 国営沖縄記念公園事務所工務課建築設備係長



高い専門性が求められ
やり遂げた達成感は大きい

大学で学んだ電気電子工学の専門性を伸ばし活かせる仕事をしたいと考えていたところ、開発建設部営繕課が担当している電気設備関係業務のことを知り、成果が実際の施設として目に見える形となって出来上がっていく仕事にも魅力を感じました。

これまで官庁施設の電気設備の設計を主に担当してきましたが、入局3年目に、新築する庁舎の設計をさせてもらった時のことが特に印象に残っています。従来は設計を外注するため、設計コンサルタントが設計の実務を行いますが、この時はその実務をすべて自分で行いました。手間と時間はかかりましたが、自分の頭を振り絞って、試行錯誤しながら設計したものが実際の形になって完成した時には、これまで感じたことのない大きな達成感があったのを今でも覚えています。また、官庁施設は、沖縄本島、離島各地にあり、出張でいろいろな地域を訪れる機会が多く、そこで自らの見識を広げ、深めることができたと感じています。

開発建設部は、沖縄県内の道路、ダム、空港、港湾、公園及び官庁施設等、沖縄全体の社会活動を支えるインフラの整備を行っていて、その事業成果がこれからの沖縄の成長に直接結びつきます。高度な専門性が求められますが、その分やり遂げた時の達成感も大きく、沖縄の成長とともに自分自身の成長を感じることができるやりがいのある仕事です。

施設設備の設計を通して沖縄の観光振興に貢献

現在、私が所属している国営沖縄記念公園事務所では、沖縄の観光振興の支援を図り、海洋博公園と首里城公園の整備を促進するとともに、安全で快適に園内を利用できるよう必要な運営維持管理を行っています。私自身は、海洋博公園内にある事務所に勤務し、施設整備に係る設計と工事監督を主に担当しており、老朽化した建築物の大規模修繕や主要設備のリニューアル工事等を進めているところです。

海洋博公園と首里城公園は沖縄トップクラスの観光施設で、仕事の成果として実際の来園者の反応が確認でき、沖縄の観光振興への貢献を間近で感じることのできる魅力ある仕事です。

私のプライベートタイム



模合仲間とイベント！
家族で楽しんでいます

同級生との1回1回の模合は約15年続いていて、旅行やキャンプ、BBQなども開催しています。今や総勢50名以上にもなる家族ぐるみの交流を楽しんでいます。



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成14年度採用・試験区分/土木
平良港湾事務所整備保全課整備保全係長

國吉 啓太
KEITA KUNIYOSHI

- 平成14年 4月 開発建設部港湾空港建設課第一積算係
- 平成16年 4月 那覇港湾・空港整備事務所第一工事課第一工事係
- 平成17年 4月 那覇港湾・空港整備事務所企画調整課企画調整係
- 平成18年 4月 開発建設部港湾計画課港湾整備係
- 平成20年 4月 国土交通省九州地方整備局港湾空港部空港整備課積算係
- 平成23年 4月 国土交通省九州地方整備局閘門航路事務所海洋環境課事業係
- 平成24年 4月 那覇港湾・空港整備事務所第一工事課第一工事係
- 平成26年 4月 平良港湾事務所整備保全課保全係長
- 平成27年 4月 平良港湾事務所整備保全課整備保全係長



島の生活基盤を支える
業務に情熱を注ぐ

学生時代、道路や港湾等のインフラ整備事業に大変興味があったので開発建設部を志望しました。また、沖縄のために役立つ仕事がしたいと考えていたのも志望動機の一つです。

採用されて1年目に配属された港湾空港建設課では、港湾整備に関する業務を行っていましたが、初めて耳にする港湾に関する専門用語に悪戦苦闘する毎日でした。また、「那覇うみそらトンネル」に関連する業務にも携わり、工事のスケールの大きさに驚かされたことが強く印象に残っています。私は港湾関連の業務が多いのですが、港湾整備といったハード面とは別に、広報・啓発活動といったソフト面の業務に携わる機会もあり、現場見学会などで子供たちへ伝えることの楽しさと難しさを経験でき、大変良い勉強になりました。

開発建設部は、沖縄の振興・発展につながる重要な業務を担っており、その責任が大きい分、やりがいも大きなものとなっています。それと同時に現場で携わっている事業が徐々に完成に近づいていく状況を直接目にするのができ、仕事に対する充実感とやりがいを感じながら動いています。

業務終了後は先輩の皆さんと食事を共にするなど、先輩・後輩の分け隔てのないとても明るい職場です。

平良港の整備を通して宮古島に貢献

私が所属する平良港湾事務所は、重要港湾である平良港の整備を主目的に、岸壁や防波堤などの土木施設を整備してきました。私自身は整備保全課に所属し、主に平良港整備に必要な工事の発注や、工事の現場監督を担当しています。また、平良港におけるテロや災害に備えた業務を行うなど、仕事内容は多岐にわたります。

離島である宮古島では、多くの生活物資が平良港を経由して輸送されており、平良港は宮古島の皆さんの生活基盤を支える重要な港となっています。その平良港の整備を行う業務に携われ、日々「やりがい」を感じながら業務に励んでいます。

私のプライベートタイム



眺めているだけで
癒される海へ

宮古島といえばやはり海！私は泳げないで海には入りませんが(笑)、青い海を見ていると仕事の疲れから解放されること間違い無しです。



MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成19年度採用・試験区分/機械
運輸部海事技術専門官

池原 義喜
YOSHIKI IKEHARA

- 平成19年 5月 運輸部海事技術専門官
- 平成26年 4月 運輸部首席運輸労務監理官付
- 平成27年 4月 運輸部海事技術専門官



民間企業から転職
社会貢献の喜びを実感

運輸部の業務に船舶検査がありますが、私自身、入局前は民間の船会社に勤めていたことから、船舶検査を受検する機会が何度もありました。それを機に、船舶検査が運輸の安全を支えているということに気付かされ、広く船舶関係の仕事に関心を持ったことから、海事・船舶行政を所管する運輸部を志望しました。

印象的な業務といえば、次世代の船員として担い手を確保するために、小中高生に対して船や船員の仕事を紹介する事業を担当した時のことです。いかに楽しく参加してもらえるかを考えながらプログラム等を企画しました。学習資料の作成や船舶の手配・契約業務など慣れない仕事で準備が大変でしたが、当日、楽しそうに参加する子供たちを見て達成感と喜びを感じました。

また、船舶検査では、外航クルーズ船の立入検査をする機会もありました。通常立入している貨物船等と比べて船体も大きく設備の数も多かったため、4時間半の検査でも足りなく感じるほどでしたが、船内の設備は乗組員によって保守整備が行き届いており、安全に対する意識の高さに驚かされました。

運輸部は、陸上・海上交通及び観光に関する業務を行っています。交通事業の許認可や船舶・自動車の検査登録など様々な業務がありますが、その一つ一つが交通機関を利用する沖縄県民や観光客に対し、安心・安全な公共交通サービスを提供できるよう行政という立場で業務を行っています。

船舶検査を通し、海上の安全・保安に貢献

現在、私が担当している海事技術専門官は、船舶の安全・保安の確保や海洋・大気環境の保全等に努めており、船舶及び船舶の諸設備の検査を実施しています。また、沖縄管内に寄港する外国船に対し、船舶の構造設備、乗組員の資格要件等について、国際条約に適合しているか、直接、その船舶に立ち入って検査も行っています。

海に囲まれた沖縄では、食料・燃料等ほとんどの物資が海上運輸でまかなわれています。また、海外からのクルーズ船の入港数も増加しています。このような海上における人流・物流の手段となる船舶に対して、幅広い知識と経験に基づき、人命や船舶の安全・保安、海洋環境の保全の一翼を担うやりがいのある職務です。

私のプライベートタイム



休日は娘とデート！
うれしい楽しい時間

最近では1歳の娘と公園や動物園などへ出かけ、日々成長する姿を見て楽しんでいます。もう少し大きくなったら家族で海水浴！今一番の楽しみです。

MESSAGE FROM SENIOR STAFF
先輩職員からのメッセージ

PROFILE

平成23年度採用・試験区分／行政
運輸部船舶船員課労政・職業安定係

上原 早紀

SAKI UEHARA

- 平成23年 4月 内閣府沖縄振興局新大学院大学企画推進室
- 平成25年 4月 運輸部陸上交通課保障係
- 平成27年 4月 運輸部船舶船員課労政・職業安定係



幅広い業務に携わり キャリアアップ

大学時代に公共政策学を専攻し、公共的な課題・問題やそれに対処するための政策立案等を学んだことで国の政策に興味を持ち、国家公務員になりたいと考えました。その中でも沖縄総合事務局は、所掌業務が幅広く様々な分野の政策に携わることができ、さらに生まれ育った沖縄の振興に貢献できると思い、志望しました。

採用1～2年目は内閣府沖縄振興局に配属され、沖縄科学技術大学院大学(OIST)の施設整備費や県内公立学校の校舎新築・改築等の予算に関する業務を経験しました。慣れない作業に戸惑うこともありましたが、上司や先輩方にご指導をいただきながら様々な知識を身に付けることができ、成長できた2年間でした。

陸上交通課に所属していた時、自動車損害賠償保障事業に関する業務を行い、沖縄県内各地で警察等と連携し、自賠責に加入していない車両やバイク等を対象に街頭で取締りを行いました。実際に街頭に出て一人一人に声をかけ、無保険車を減らしていくという地道な業務も国主体で行っていることに驚き、国家公務員の業務の幅広さを改めて感じました。

運輸部に所属して4年がたとうとしています。特に感じることは、お互いに助け合える体制がちゃんと整っているということです。日々の業務の中では、困ったことや不安になることもありますが、自分一人で悩むことはありません。今後も安心してキャリアを重ねていけると思います。

船員の雇用に関する「窓口」として親身に対応

現在、私が所属する船舶船員課は、海に囲まれた沖縄県民の生活に大きな役割を果たしている船舶の検査・登録・安全環境に関する業務や、船舶乗組員の資格試験・労働環境・職業紹介等に係る業務を行っています。私が担当する労政・職業安定係は、「海のハローワーク」と呼ばれており、船員の雇用促進・安定を図るため、職業紹介や雇用保険に関する業務を行っています。また、海運業界において大きな課題となっている船員不足解消のため、ハローワーク等と連携した船員就業促進への取組なども行っています。求職中の船員の方から採用の連絡を頂いた時はとても嬉しいですし、仕事のモチベーションにもつながります。

私のプライベートタイム



「愛車でドライブ」 目指して練習中！

免許取得後6年間ベーパードライバーでしたが、最近車を購入し、休日は運転の練習！運転は少し苦手ですが大分うまくなってきましたよ！

MESSAGE FROM SECONDED STAFF
出向職員からのメッセージ

PROFILE

昭和61年度採用・試験区分／農業土木
エチオピア国農業天然資源省

田港 朝彦

TOMOHIKO TAMINATO

- 昭和61年 4月 農林水産部土地改良課整備係
- 昭和63年 4月 石垣農業水利事業所調査設計課調査係
- 平成 2年 4月 農林水産省九州農政局計画部・川辺川農業事業所
- 平成 6年 4月 農林水産部土地改良課開発係長
- 平成 9年 9月 農林水産省構造改善局建設部設計課機械指導班電気係長
- 平成10年 2月 外務省在タンザニア日本国大使館二等書記官
- 平成13年 4月 農林水産部土地改良課・土地改良総合事務所
- 平成21年 1月 イラン国ゴレスタン州農業局
- 平成24年 1月 独立行政法人国際農林水産業研究センター農村開発領域主任研究員
- 平成27年 4月 土地改良総合事務所計画課長
- 平成28年 6月 エチオピア国農業天然資源省



「農」に貢献する社会的、 国際的リーダーへ

沖縄における総合的な開発の窓口であり、沖縄県庁と綿密に協力しつつも国家的観点から開発計画を立案し、実施・管理と全ての過程に携わることができること、さらに大学で専攻した農業工学の分野では、他省庁への出向や政府開発援助(ODA)等の国際協力において、専門性を活かして海外勤務の道もあることなどが志望の決め手になりました。

これまでの業務のうち、宮古島での国営かんがい排水事業「宮古・伊良部地区」の事業の調査・計画業務が印象に残っています。現状の確認から始め、具体的な将来の営農像を描き、地元の農家、土地改良区等の関係者と協議を重ねながら計画を立案しました。技術的・施策的な課題を解決することは困難な業務でしたが、上司・同僚・部下と協力しながら一歩ずつ進めた結果、新たな国営事業が着手されました。

我々が安心して暮らしていくためには、国の基本である農を支え、維持・発展させることが大前提です。安全な農作物を安定的に供給する。目標は明確ですが、労働人口の減少、気候変動、新たな貿易協定など農業生産を取り巻く環境が厳しさを増している中、沖縄の農業にもResilienceが求められています。島々を存続させるためにも農林水産業の維持・発展は欠かせません。人々の暮らしの礎を築く活動の最前線に立ってみたいです。

※「精神的回復」「抵抗力」「復元力」「耐久力」なども読まれる心理学用語

エチオピアで個別派遣専門家として活躍

これまでにタンザニア、イランでの海外勤務の経験があります。現在はJICA(国際協力機構)に出向し、個別派遣専門家として2016年からエチオピア国農業天然資源省計画局へ農業振興改革促進アドバイザーとして派遣されています。本部署は農業大臣及び副大臣が行う各種振興計画の企画・立案、実施状況の管理を主業務にしており、私自身は、エチオピア農業の成長戦略を実施するための計画のモニタリング、評価等を適正に行える人材育成のほか、これまで日本政府が行ってきた様々なプロジェクトのフォローアップや新規協力プロジェクトの計画・立案なども行っています。

エチオピア発展の主力である農業を振興するためにも同計画に貢献できる人材を養成する必要があり、その過程により我が国とエチオピアのさらなる発展に寄与できる部署だと考えています。

私のプライベートタイム



在留邦人による国際交流イベントにも参加
エチオピアで年に1度開催されるJapan Festivalでは、外交団の方々を招いて舞台発表などで日本を紹介しました。今回は軽音楽の団員として参加しました。

MESSAGE FROM SECONDED STAFF 出向職員からのメッセージ

PROFILE

平成14年度採用・試験区分／行政
公正取引委員会事務局経済取引局取引部企業取引課
下請取引調査室下請取引検査官

幸喜 得秀
TOKUHIDE KOUKI

- 平成14年 10月 総務部会計課支出負担行為第一係
- 平成16年 4月 総務部総務課庶務係
- 平成18年 4月 内閣府大臣官房会計課契約第2係
- 平成20年 4月 内閣府大臣官房国際課国際会議係
- 平成21年 4月 総務部調査企画課総括係
- 平成23年 4月 人事院沖縄事務所調査課主査
- 平成25年 4月 運輸部監査指導課自動車監査官
- 平成27年 4月 総務部総務課文書係長
- 平成28年 4月 公正取引委員会事務局経済取引局取引部企業取引課
下請取引調査室下請取引検査官



様々な経験を積めることが 最大の魅力

学生時代は理学部に所属しており、専門分野で研究作業を繰り返していたため、いくつかの省庁の出先機関が統合され、様々な業務を行っている沖縄総合事務局はとても魅力的に思えました。実際に、様々な業務を経験させてもらったのですが、どの業務にも違った面白さと難しさがあり、日々奮闘しています。

以前出向した人事院沖縄事務所では、給与等に関する相談・監査等の対応で他省庁とやり取りをすることが多く、また、民間企業の方とも研修講師の依頼や企業の給与実態調査等でお世話になる機会もあり、業務を通じて周囲との連携及び協力体制を築く大切さを再認識することができ、とてもいい経験になりました。

どこの部署でも花形業務と裏方業務があり、どちらも重要ですが、裏方のしっかりとした支えがないと、花形業務の成功はありません。私は裏方業務が長いのですが、イベントの成功や大きな会議が何事も無く終了した時の達成感は、とても言葉では表現できません。

総務部では総務部内の部署だけではなく、局内の他部へ人事交流で異動することがあります。また、沖縄県外へ転勤することも珍しくありません。私も運輸部、人事院沖縄事務所、内閣府本府での官房会計課と官房国際課、現職の公正取引委員会といった総務部以外の様々な部署に異動してきました。やはり、その組織にしかない独特の雰囲気や考え方があるので、慣れないことも多々あるのですが、それ以上に多くの人と触れ合えることは最大の魅力だと思います。

挑戦することで仕事の幅を広げていきたい

現在は、公正取引委員会の下請取引調査室で勤務し、下請代金の減額や支払遅延といった下請代金支払遅延等防止法(下請法)違反を調査し、違反者に対しては勧告等により、下請法違反をやめさせるとともに、減額した代金を返還させるなどの措置を採っています。

措置決定に当たっては、調査対象となった事業者の担当者と積極的にコミュニケーションを取りつつ、事業所の立入調査、供述調査の録取等必要な調査を実施します。

公正取引委員会での業務は、これまで経験してきた業務と大きく異なりますが、初めての事にチャレンジすることで、自分の仕事の幅を広げていきたいと考えています。

私のプライベートタイム



多くのことに挑戦、
人生を豊かに！
オフタイムは関東近郊のマラソン大会に参加し、地域の自然や食を堪能。富士山登山では山頂まで到達し、御来光を拝むことができました！

MESSAGE FROM SECONDED STAFF 出向職員からのメッセージ

PROFILE

平成7年度採用・試験区分／土木
豊見城市都市計画部都市計画課参事

伊藝 誠一郎
SEIICHIRO IGEI

- 平成7年 4月 北部ダム事務所工務課億首ダム(現金武ダム)担当
- 平成9年 4月 建設省関東地方建設局横浜国道工事事務所調査第二課計画係
- 平成11年 4月 南部国道事務所工務課設計第二係
- 平成12年 10月 北部ダム統合管理事務所福地ダム管理支所管理第二係長
- 平成14年 4月 南部国道事務所与那原維持出張所管理係長
- 平成15年 10月 南部国道事務所工務課工務係長
- 平成18年 4月 南部国道事務所調査第一課計画係長
- 平成20年 4月 開発建設部道路建設課道路整備係長
- 平成23年 4月 開発建設部道路建設課調査係長
- 平成26年 4月 豊見城市都市計画部都市計画課参事



公的プロジェクトに 携わる喜び、誇り

学生時代から発展途上国でのインフラ整備に携わってみたいという思いがあり、学生時代は土木を専攻しました。当時の沖縄は、今よりダム、道路、港湾とまだまだインフラが足りない状況であり、技術屋として沖縄のために頑張りたいという理由から開発建設部を志望しました。

南部国道事務所所属していた時、沖縄サミット開催に向けて、まだ用地未買収箇所もある中、那覇空港自動車道の南風原道路(6km)を1年足らずで全線開通させた時のことが最も印象に残っています。当時は、私と係長1人、委託業者数人の少人数の中で年間70件〜80件の工事発注や設計業務もやっていたので、慌ただしい日々が続いていましたが、開通時の達成感は今でも忘れられません。

開発建設部は、国として沖縄県の発展に寄与するインフラ整備に携われる部署です。那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路、那覇空港第2滑走路整備、首里城や美ら海水族館、ダム管理等のビッグプロジェクトに携わることができ、半永久的に目に見えて残るものとなります。自分の子供や孫たちの世代に誇れるものづくりに携われる開発建設部と一緒に頑張りたいです。

市民と向き合う市役所の業務は貴重な経験

現在は、豊見城市役所へ出向しています。これまでも国という立場で、自治体の要望や相談対応をしていたこともありましたが、最前線で市民に向き合う市役所の業務は貴重な経験です。市役所では都市計画課で課長級の参事として市内のまちづくりに携わっていますが、地域のまちづくりは市町村が主体で、国とは違いプロジェクトがコンパクトであるため、ビッグプロジェクトとは大分違うスピード感でインフラ整備を進めることができます。

私自身、まちづくりに関する企画立案、地権者・企業との意見交換、予算要求、議会対応等を行っていますが、各業務の進め方を一任され、プレッシャーもありますが、非常にやりがいを感じます。また4半期ごとの市議会の一般質問や常任委員会にも答弁者として出席、市長や市議会議員と接する機会も多く、自分自身の視野が広がりました。

私のプライベートタイム



ライブに出演！
休日は親子で公園！
下手の横好きですが三線も趣味の一つで、ライブ演奏をしたりと仲間と楽しんでいます。休日は公園に出かけ子供たちの時間を過ごしていますよ！

MESSAGE FROM SECONDED STAFF
出向職員からのメッセージ

PROFILE

平成26年度採用・試験区分／行政
経済産業省中小企業庁創業・新事業促進課

幸喜 綾子
AYAKO KOUKI

- 平成26年 4月 経済産業部企画振興課企画係
- 平成27年 4月 経済産業部政策課総括係
- 平成28年 4月 経済産業省中小企業庁創業・新事業促進課



すべての経験は 社会のため自分のために

県外の知人に、「沖縄で生活するなら退職してから」とか「沖縄って仕事あるの?」と言われたことが大変悔しく、沖縄の経済を良くしていけるような職に就きたいと思ったのがきっかけでした。官庁訪問を繰り返すうち、複数の省庁の仕事を行っている沖縄総合事務局にひかれ、経済産業部が進めている産業振興の施策に自分も関わりたいと思い志望しました。

入局2年目に、国際室の業務として「沖縄の産業まつり」に出展しました。内容は県内のもづくり系企業の海外展開に関するPRなどで、当日の運営だけでなく、参画していただけの企業に営業したり、一から企画しました。若手職員がほとんどで、手探りの状態で大変なこともたくさんありましたが、終わった後は達成感があり、とても良い機会だったなど今でも印象に残っています。

新人のうちは、私達が「ロジ」と呼んでいる後方支援や物事をスムーズに進めるための調整の仕事が多いのですが、大臣などをアテンドする機会もあり、タイムスケジュールを綿密に立て、訪問予定の企業と調整を行うなど、今後役立つであろう想像力や全体を見通す力が身に付きます。

経済産業部は他の部署と比べると職員数が少ないこともあり、アットホームな雰囲気や、皆、好奇心旺盛、扱っている分野も広く、民間企業の方との関わりも多いので、新しい発見や学べることは多く、面白いことや人に出会える機会は多いです。好奇心が強い人には是非お勧めします!

「国の中心」を実感、非常にやりがいがある仕事

現在、私が所属する経済産業省中小企業庁創業・新事業促進課は、中小企業の海外展開支援や新事業活動支援、創業支援など、業務は多岐にわたります。職員がほぼ全国の自治体や民間からの出向者ということもあり、良い刺激を受けながら切磋琢磨しています。私は創業支援に関する補助金の執行、市町村が作成する計画の認定を行っており、有識者を交えた研修会も担当しています。

私達が行っていることが全国紙に掲載されたり、全国から集まる情報に圧倒されたりと、国の中心だということを肌で感じられるのは非常にやりがいがあります。自分がどういった問題意識を持って、何をしたいのかを常に問われるような場所ですが、主体的に動くことができれば、得られるものは大きいと思います。

私のプライベートタイム



ロックフェスへGO!
東京生活を満喫!

旅行や音楽がとても好きなので、東京という地の利を活かして休日は同僚や友人と旅行やロックフェスへ!2年間の限られた東京生活満喫しています。

MESSAGE FROM SECONDED STAFF
出向職員からのメッセージ

PROFILE

平成15年度採用・試験区分／機械
独立行政法人自動車技術総合機構宮古事務所自動車検査官

金城 昌之
MASAYUKI KINJO

- 平成15年 4月 自動車検査独立行政法人沖縄事務所自動車検査官補
- 平成18年 4月 運輸部車両安全課整備係
- 平成20年 4月 自動車検査独立行政法人沖縄事務所自動車検査官補
- 平成22年 4月 独立行政法人交通安全環境研究所自動車認証審査部自動車審査官補
- 平成25年 4月 自動車検査独立行政法人沖縄事務所自動車検査官補
- 平成28年 4月 独立行政法人自動車技術総合機構宮古事務所自動車検査官



得意分野を活かし 車社会の沖縄に貢献

当時、機械の分野で沖縄総合事務局が職員を採用していることを知り、得意分野である機械に関係する業務を通して沖縄の振興に貢献できればと思い志望しました。

これまでの業務で特に印象に残ったものは、「交通安全環境研究所自動車認証審査部」へ出向し、自動車の型式認証審査に携わったことです。型式認証審査は、開発段階の車両の構造・装置等について、安全性の確保及び公害の防止や環境の保全を確保するために定められた保安基準に適合しているかどうかを審査するもので、自動車メーカーや輸入代理店等と試験方法等の打合せを行い、試験を実施します。現在の私の業務と深い関係にあり、在籍時には学ぶことも多く大変ではありましたが、とても有意義な経験でした。海外の自動車メーカーに出向いて審査を行うこともあり、外国人の方と議論をした(通訳を介してですが)ことも非常に印象に残っています。

また、同等程度の経験を積んだ職員が全国から集まり行われる研修では、業務との関連の有無に関わらず交流できたことが印象に残っています。

運輸部は、チームで取り組む業務が多い部署です。業務を円滑に行うには、コミュニケーションがとても大切になってきます。先輩方は非常に優しく、時に厳しいこともありますが、困った時には助けてくれる頼もしい存在です。

ここでしか経験できないことに全力投球

現在、私が所属する自動車技術総合機構宮古事務所は、宮古島地区の自動車の検査に関する業務を行っており、車検に適合するかどうかを審査することで、自動車の安全性の確保や自動車による公害防止、環境の保全を図ることを目的としています。

日々の業務としては、宮古運輸事務所併設されている検査場での業務や、民間車検場のない離島への出張検査、警察と連携して道路を走行中の車両に対する街頭検査も行っています。

宮古事務所は私1名の在籍ですが、宮古運輸事務所の職員と協力して業務を行っています。業務の所掌の違いはありますが、公私ともにチームワークが良く、楽しく仕事をしています。

私のプライベートタイム



オフはのんびり
趣味の魚釣り

休日は、宮古島の美しい海で趣味の釣りを満喫!たまに夜は、賑やかな西里通りでエンジョイ。仕事もプライベートも楽しく充実しています。

私の履歴書



人のため、
自分のために
頑張れる！

PROFILE

平成18年度採用・試験区分／行政 人事院沖縄事務局調査課主査

石原 沙耶佳 SAYAKA ISHIHARA

- 平成18年 4月 総務部調査企画課企画第一係
- 平成20年 4月 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付参事官(国際担当)付
青年交流第3担当主査付
- 平成21年 4月 内閣府沖縄振興局新大学院大学企画推進室
- 平成22年 4月 自己啓発等休業 ※平成24年3月まで
- 平成24年 4月 総務部会計課予算決算係
- 平成24年12月 育児休業 ※平成25年12月まで
- 平成26年 6月 総務部人事課共済第一係
- 平成27年 4月 人事院沖縄事務局調査課主査

沖縄総合事務局(総務部)を志望した理由は何ですか

国の機関でありながら、沖縄振興に携われることに魅力を感じ、沖縄総合事務局を志望しました。その中でも、総務部は、人事や会計等、各部との調整・取りまとめの業務が主ですが、調査企画課、跡地利用対策課等、沖縄振興に特化した専門の部署もあります。また、東京の内閣府本府の勤務も経験でき、様々な業務を経験することができると思い、総務部を志望しました。

採用後、担当した業務について教えてください

初めて配属された部署は調査企画課で、主に沖縄振興の経済に係る会議の準備や統計冊子の作成、各種調査の企画等を担当しました。私が担当していた時期は、沖縄振興計画の折り返しの年で後期展望をまとめており、審議会等で沖縄の抱えている問題や今後の展望について、有識者の方々の貴重なお話を聞くことができました。最初に大きな視点で沖縄のことを考えることができてよかったと思います。

内閣府への出向について教えてください

青年国際交流の部署で「東南アジア青年の船」の事業を担当し、ASEAN10が国と日本の青年たちと、約40日間東南アジアの国々を船で回りました。他の国の人々と関わることで、その国に興味を持ち親近感を持つことができるので、国際交流の大切さを実感しました。また、「沖縄科学技術大学院大学」の企画室で総括を担当しました。当時はまだ大学になる前の「機構」という組織で、大学にするための法案を通すということで、室内は緊張感が漂っていました。私は議員会館に資料を届けたりと雑務を行っていましたが、国会という日本の政治の動向を目の当たりにすることができました。

自己啓発等休業を取得した理由について教えてください

調査企画課で「地域ブランド」に関する調査を行った経験と、沖縄科学技術大学院大学関係の部署で、共同研究での「特許」の問題が国会で議論になったりと、沖縄振興において知的財産権の活用を感じていたので、詳しく学んでみたいと思い、内閣府出向中の2年間自己啓発等休業を取得し、大学院へ進学しました。沖縄は中小企業がほとんどかと思いますが、中小企業が大きな成功をつかむには「知的財産権」の活用が今後ますます重要になってくると感じ、今後の業務において、大学院で学んだ知識等を活かせたらと思っています。

仕事と家庭の両立について教えてください

自己啓発等休業から復職後は、沖縄に戻り、会計課で予算の執行・決算業務を担当しました。この頃、妊娠・出産を経験し、育児休業を取得しました。子供に向き合うことで、これまで仕事中心だった生活リズムや考え方が大きく変わりました。育休から復職後は、休憩時間の短縮や育児時間の制度を利用しています。保育園のお迎え等があり、残業が基本的にはできないので、家庭と仕事の両立は大変ですが、勤務時間内の集中力も増し、効率的な業務を心がけています。

人事院への出向について教えてください

人事院沖縄事務所では、国家公務員の給与制度及び公平業務(苦情相談等)を担当しています。人事院では、在沖の国家機関全てとやり取りがあり、監査を行ったり、研修や制度説明会を実施したり、また、民間企業に給与等に関する調査へ出向いたり、今まで関わったことのない機関との関わりを通して、視野が広がりました。また、適正な給与の実現のための調査・監査、働きやすい勤務環境の実現のため、職員からの各種相談への対応等、中立的な立場で国家公務員制度を支える知見が得られ、貴重な経験させてもらっていると感じています。

沖縄総合事務局を目指している方へのメッセージをお願いします

沖縄総合事務局には、「沖縄振興」のためという組織の明確なビジョンがあります。希望すれば様々な業務を経験することができます。特に女性の方へのメッセージですが、若い頃は様々なことに積極的にチャレンジしてください。自分の成長にもつながり、また、出産後等、仕事をセーブせざるを得ない時期も、若い頃の経験が活きてくると思います。仕事は決して楽ではありませんが、真摯に仕事と向き合い、周りとの関係を大切にしながら仕事をしていけばきっと大丈夫です。



採用に関する Q&A



Q1 沖縄総合事務局は どんなところですか。

A 沖縄総合事務局は、内閣府の地方支分部局で、国の立場から沖縄振興に携わることができるとともに、財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等の地方支分部局が担う業務も担当する、全国でも類をみない国の総合出先機関です。

Q2 どのような人材を 求めていますか。

A 沖縄総合事務局は、その任務が広範多岐に渡ることや国の立場から沖縄振興に携わっていくことから、幅広い視野とバランス感覚に優れ、柔軟な発想を持った人、そして何よりも沖縄振興に貢献する意欲にあふれた人材を求めています。

Q3 業務説明会の参加回数は 採用に影響がありますか。

A 業務説明会は、沖縄総合事務局が取り組んでいる業務を多くの方々を知っていただくために開催していますので、説明会の参加・不参加は採用に影響しません。業務説明会は、業務内容はもちろんのこと、実際に働いている職員と接する良い機会でもありますので、積極的にご参加ください。

Q4 出身大学(学部)は採用に 影響がありますか。

A 国家公務員試験を最終合格した方であれば、出身大学(学部)等は一切関係なく、面接による人物重視の選考を行っています。

Q5 配属、異動について 教えてください。

A 配属される部については、本人の希望・適性などを考慮して決定されます。その後、2～3年のサイクルで異動し、様々な業務を経験することになります。なお、配属や異動に際しては、毎年、職員に対して行っている意向調査及び職員の能力、適性等を見極めて決定されます。

Q6 勤務地はどこですか。 転勤はありますか。

A 那覇市にある本局のほか、沖縄本島、宮古、石垣にある事務所で勤務することになります。また、基本的には沖縄県内での異動となりますが、関係省庁等沖縄県外へ出向することもあります。

Q7 採用後の研修制度はありますか。

A 当局独自に、階層別研修(初任者研修、係長研修、課長補佐研修、管理者研修)、スキル向上のための研修を行っています。また、部によっては、業務遂行に必要なスキルを身に付けるために、関係する省庁で実施している専門研修に参加することもあります。

Q8 女性にとって 働きやすい職場ですか。

A 国家公務員は、家庭と仕事の両立支援制度が充実しています。沖縄総合事務局においても、ワークライフバランスを推進しており、育児休業、育児短時間勤務及びフレックスタイム等、ライフスタイルに合わせ、これらの制度を積極的に活用している職員が増えてきています。



美ら島の未来を拓く

内閣府 沖縄総合事務局 総務部 人事課

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1 TEL.098-866-0045

www.ogb.go.jp

沖縄総合事務局

検索

